

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立医療保健センター
指定管理者名	一般財団法人箕面市医療保健センター
開催日	令和2年（2020年）9月1日（火）
開催場所	箕面市立医療保健センター分室（豊能広域こども急病センター） 3階大会議室
合議の出席者	公益社団法人箕面市シルバー人材センター 事務局次長 白川 正人 氏 公益財団法人箕面市メイプル文化財団 伊藤 万由 氏 施設利用者 中野 良昭 氏

【概要】別添のとおり

内容

令和2年9月1日(火)に箕面市立医療保健センター分室(豊能広域こども急病センター)大会議室にて、指定管理者にかかる合議を実施いたしました。その中で下記のようなご意見を合議メンバーからいただき、指定管理者から説明がありました。

1 合議メンバーからの主な意見と意見に対する説明

- アンケートで「がん検診に関して再検査と言われ、再検査を受けたが何もなかった。大丈夫かと不安に思った。」とある。その答えが私はわかりにくいと感じます。がん検診の目的・再検査の説明を市民に分かりやすく伝える方法を考えてみてはどうでしょうか。

(説明)

がん検診は「がん」を見つけるだけでなく、「がん」ではないかもしれないが、例えば「しこり」や「ポリープ」などがあった場合に、より詳しい検査を受けてもらうために再検査をお知らせします。

その再検査の結果が、「がん」ではなく「良性ポリープ」だったとか、「異常がなかった」という事が良くあります。検査のしくみの説明が伝わりにくいところがあったかと思えます。

がん検診は、あくまでも「一次スクリーニング(振るい分け)」であることを理解していただけるように説明方法を検討します。

- よくある質問やアンケートの結果は医療保健センター内に掲示してみてもどうでしょうか。

(説明)

場所等も含めて検討します。

- 人間ドックの枠をたくさん取ればもっと利益が上がると思えます。

(説明)

市や企業の特定健診等の受託もしているため、人間ドックの枠は特定健診の利用状況を見ながら柔軟に対応して利用人数を増やすように努力しています。

その結果、令和元年度は前年度より約100件上回る結果となっています。

2 総評

閑散期の職員健診実施、総合健診日の特定健診実施や顧客利便性の改善を行った結果、総合健康診断(人間ドック)や一般健康診査及び基本健康診査等の受診者が増加しており、昨年度より約2.1%増の収益黒字となりました。利用者アンケートの総合的な満足度も高く、指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価いたします。